

平成 29 年度
教科に関する科目
社 会

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号, 氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

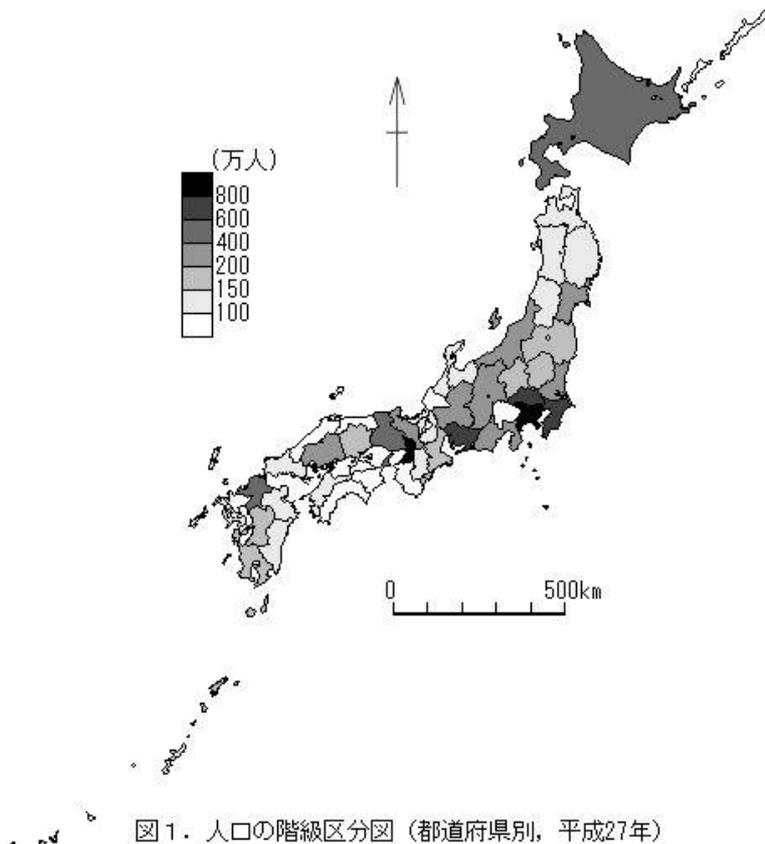
問1 図1～図6は、2015(平成27)年国勢調査による都道府県の人口と面積から、人口、人口密度、人口接近度を図示したものである。各都道府県の人口を P [人]、面積を A [km²]とすると、人口密度 D [人/km²]、人口接近度 L [m]は、

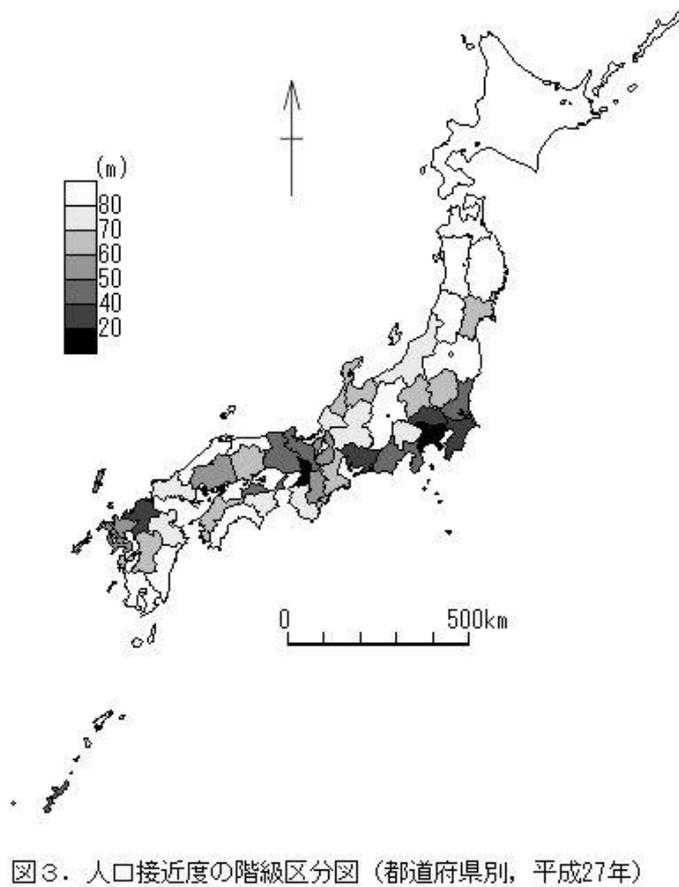
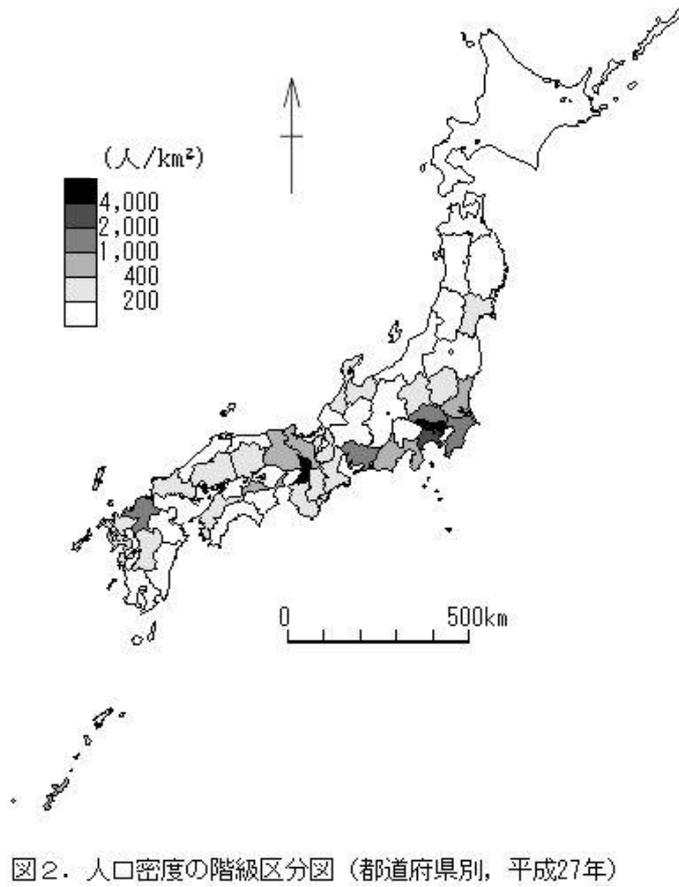
$$D = \frac{P}{A} \quad , \quad L = 1000 \times \sqrt{\frac{2}{\sqrt{3}} \frac{1}{\sqrt{D}}} = \frac{1074.57}{\sqrt{D}}$$

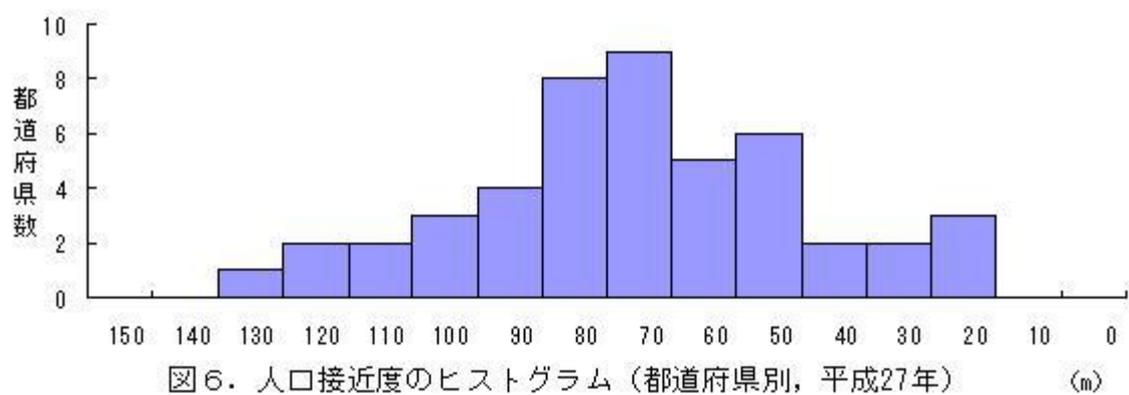
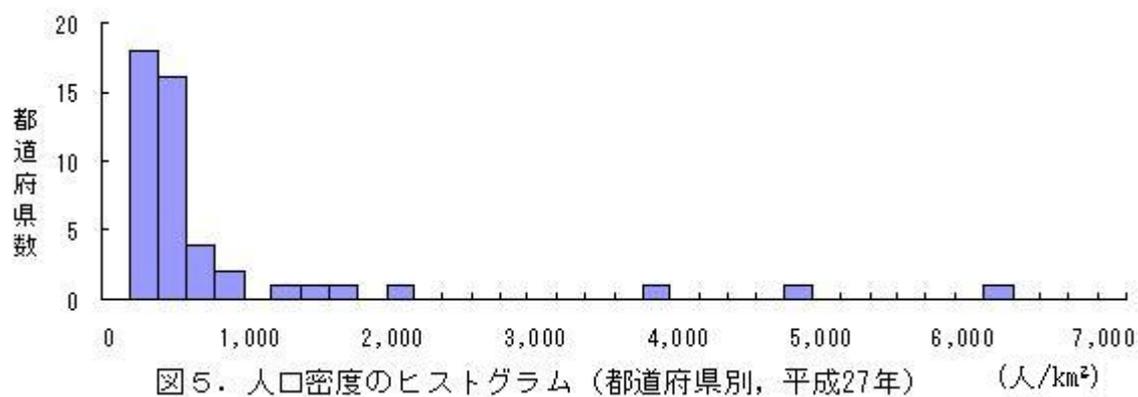
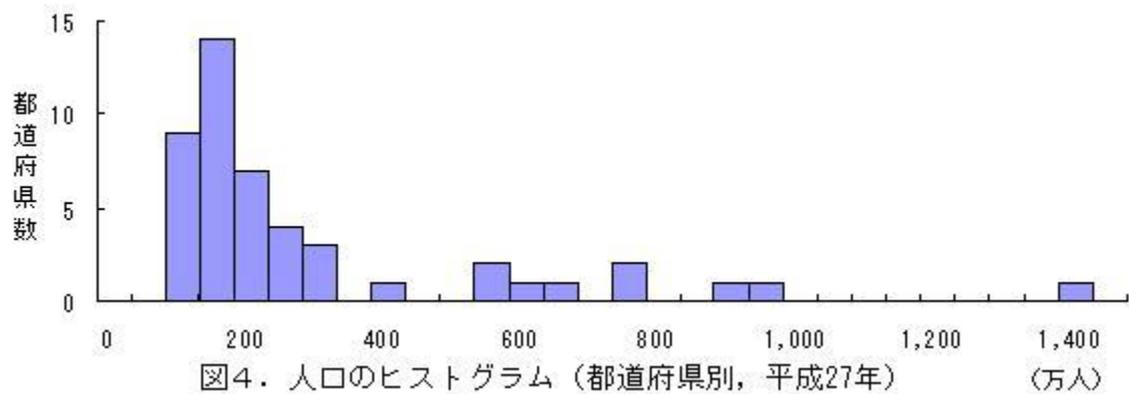
である。人口密度は単位面積当たりの人口、人口接近度は、当該地域に人口が満遍なく分布する場合、すなわち、各々の人口が均等に正六角形の中心に位置しているとした場合の、隣接する人相互間の距離を表わしている。

人口、人口密度、人口接近度の地図表現には、それぞれ、説明資料として長短がある。これらの図の読解に関して、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙に数字を書くときは2字で1マスとすること。

- (1)一般に、人口規模を階級区分図に表わす場合、人口そのものではなく、人口密度が用いられる。人口と人口密度の階級区分図とヒストグラムを参照しながら、その理由を150字以内にまとめなさい。
- (2)人口密度の階級区分図と人口接近度の階級区分図について、ヒストグラムを参照しながら、長短を検討し、200字以内にまとめなさい。







問2 次の問いに答えなさい。なお、解答用紙に数字を書くときは2字で1マスとすること。

- (1) 日本は、1894年～1895年の日清戦争に勝利し、さらに1904年～1905年の日露戦争に勝利した。

下線部の日露戦争の結果および国内外に与えた影響について、次の四つの語句を全て用いて200字程度で説明しなさい。その際、用いた語句それぞれに下線を引きなさい（語句を複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと）。

アジア諸国、 南満州、 日比谷焼き討ち事件、 ポーツマス条約

- (2) 岩倉具視を特命全権大使とした使節団が、訪欧した当時(1872～1873年)のドイツの政治的状況について、次の三つの語句を全て用いて150字程度で説明しなさい。その際、用いた語句それぞれに下線を引きなさい(語句を複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと)。

ビスマルク、 普仏戦争、 プロイセン